

留学だより vol.4



お久しぶりです。オーストラリアに留学中の加塩です。私のいるアデレードでは日に日に気温が高まり、夏の訪れを感じています。10月からサマータイムが始まり、日本との時差が30分から1時間半に伸びました。計算がまた少し面倒になりました。現在はTerm 3とTerm 4の間のスクールホリデー中です。課題に忙殺されていた日々が過ぎ去り、休暇を満喫しています。更新が遅れてしまいましたが、最後までお楽しみいただけると幸いです。

■ クラブ活動に参加しています。

クラブ活動は、私の学校で行われているいわば同好会のようなものです。希望者のみが集まって、週一回程度ランチタイムに活動します。クラブ数は10個前後で、どのクラブも小規模です。私が所属しているのはVocal Groupです。皆で合唱をしています。メンバーのほとんどが、同じ音楽クラスの見知った顔で、居心地が良いです。以前から所属していた友達に誘われて参加しました。

先日、Music Night というイベントで初めてパフォーマンスをしました。放課後、学校で行われ、たくさんの保護者が見に来ました。私のホストファミリーも見に来てくれて、緊張半分、楽しさ半分でした。Vocal Groupの合唱のほかにも、音楽クラスで練習した合奏も披露しました。私はピアノを3曲と合唱を1曲。数々の練習や、本番の緊張感を共有し、クラスの人とより仲良くなれた気がして嬉しかったです。本番一週間前くらいに、急に曲が増えたり変わったり、そんな緩さがとても好きです。



リハーサルの様子

校外学習

日本の学校では、遠足や校外学習は学年全員で行くことが多かったですが、こちらの学校では選択教科のクラスで行くことがほとんどです。これまで私が参加したのは、音楽と物理の校外学習です。どちらも新鮮な体験で楽しかったです。

音楽では、放課後にシティのシアターに集まり、ミュージカル”Sweeney Todd”を見に行きました。プロを目指す大学生たちによるパフォーマンス。比較的小さいシアターの最前列だったので、とても間近でみることができました。ミュージカルを生で見るのは初めてで、英語で、しかも夜だったので、正直「寝落ちしてしまうのではないか」という不安がよぎりましたが、そんな心配は無用でした。演技も、歌も、演奏も、何もかもリアルで、圧巻で、本当に感動しました。また機会があれば見に行きたいです。物理の校外学習では、University of South Australia のキャンパスへ行きました。研究室の見学と、そこでいくつかの実験を体験。音の実験と放射線の実験でした。どちらも、初めて扱う機器ばかりで楽しかったです。



クラブチームに入りました。

日本の学校でバレーボール部に所属しており、留学中も続けたかったので、近所のクラブチームに加入しました。冬のシーズンは先月で終了し、来シーズンも参加するか迷っているところです。練習と試合が週1回ずつあり、送り迎えの都合で練習の方のみ参加していました。チームの強さは日本の部活のチームとあまり大差ないので、入りやすかったです。運動神経がずば抜けて高い子や、高い身長を利用してスパイクを打ち落としてくる子などもいて、とても刺激になります。ただ、バレーが上達したかと言われると、少し微妙なところ。ボールの規格が小さいので、上手になった気分ではあります。



63番です！！

日本の部活でもこちらのクラブチームでも、かけ声をするのですが、意外に違いが多くて驚きます。例えば、日本ではコートの中の真ん中のポジションを「センター」と呼ぶのですが、こちらでは「ミドル」と言います。他にも「レシーブ」ではなく「パス」、「チャンス」ではなく「フリーボール」など、挙げていくときりがありませんが、これらの違いに初めは混乱しました。

先日、クラブチームの友人と他の友人を誘って、ビーチバレーボールをしました。ビーチには、夏の間ずっとバレーネットがはってあり、自由に使用することができます。日差しが強く、屋内のバレーボールとは比にならないほど体力を消耗しましたが、人生初のビーチバレー、とても楽しかったです。また運動不足を感じたら誘ってみようかと思えます。



Japanese Festival のボランティアをしました。

正式には Adelaide Japanese Cultural Day in Burnside（和風文化祭）と呼ばれるこのお祭りは、七夕の季節に合わせて行われます。ほかの日本人留学生の多くも、ボランティアに参加していました。数回の準備を経て、祭り当日。浴衣を着て、スタンプラリーのスタンプを渡す係をしました。小学生の時以来の浴衣、オーストラリアで着る機会があるとは思わなかったです。会場には



日本文化を体験できるブースや、食べ物の屋台、アクセサリー等のお店などが並び、一日中、人でにぎわっていました。舞台上は、伝統舞踊や音楽のパフォーマンスも行われており、賑やかで、楽しかったです。焼きそばを食べたり、折り紙や習字をしたりなど、日本を思い出す一日でした。

■ ホリデーの過ごし方

写真と共に、これまでのスクールホリデーで訪れた場所や参加したイベントをご紹介します。
したいと思います。



Morialta Conservation Park は、家からおよそバスで1時間半の場所に位置する、自然保護公園。ハイキングコースがあり、友人と共に3時間半ほど歩き続けました。日本とは異なる木々や、オレンジがかった地面の色が、異国の美しい景色を作り出していました。圧巻でした。いくつかの滝も見ることができ、自然を堪能した一日

でした。



South Australian Grassroots Ecosystem は社会問題、環境問題について話し合うコミュニティで、月に一回ミーティングを開催しています。友人に誘われて参加してみました。参加者が持ち寄った様々な料理を堪能した後、集会。アイスブレイクののち、アボリジナルの方のお話を聞きました。その後、各ブースに分かれ、興味のあるトピックに各々が向かうという形式でした。私は、政治家の人に手紙を書くというブースと、持続可能なファッションというブースに行きました。お手紙のブースは、南オーストラリア州の環境について、

自分の意見を書くというものだったのですが、なかなか思うように書けないもどかしさを感じました。一方で、隣に座っていた人たちが、紙一杯になるまでペンを休むことなく走らせていて、環境への意識の高さ、思いの強さが伝わってきました。自分の意識の低さ、表現力の無さを思い知らされるとともに、彼女たちがどのようなことに関心を、強い思いを持っているのか、興味がわきました。環境、社会問題についての意識を高められる、貴重な時間でした。

次回もホリデーの様子や、参加したイベント等を共有できたらと思います。